

	福島県		県中地域				須賀川・岩瀬地区				石川地区				田村地区			
	第52週	第51週	第52週		第51週		第52週		第51週		第52週		第51週		第52週		第51週	
	感染症動向	感染症動向	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報
インフルエンザ	843	448	126	0	102	91	63	0	45	26	0	0	0	5	63	0	57	60
咽頭結膜熱	24	17	2	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	1	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	121	128	9	0	21	0	1	0	11	0	0	0	0	0	8	0	10	0
感染性胃腸炎	211	223	23	1	35	18	18	0	33	6	0	1	0	9	5	0	2	3
水痘	24	26	2	0	7	8	2	0	4	7	0	0	0	0	0	0	3	1
手足口病	49	38	2	0	1	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伝染性紅斑	3	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
突発性発疹	38	25	9	0	3	0	5	0	2	0	0	0	0	0	4	0	1	0
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	25	37	1	0	2	5	0	0	0	1	0	0	0	3	1	0	2	1
RSウイルス感染症	48	25	4	0	1	1	4	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	/	0	/	0	/	0	/	0
流行性角結膜炎	22	13	0	0	0	0	0	0	0	0	/	0	/	0	/	0	/	0

【感染症発生動向調査】 ※定点医療機関からの情報をもとに集計 【学校欠席者情報】 ※保育園、幼稚園、小中学校、高等学校の欠席者情報です。

県中地域の状況

〈県中地域でインフルエンザの流行が見られます〉

県中地域でインフルエンザの流行が見られます。インフルエンザは、高熱、関節痛、筋肉痛等全身の症状が突然現れます。併せて普通の風邪と同様、鼻汁、咳等の症状もみられます。まれに、乳幼児は脳症を、基礎疾患のある方や高齢者は肺炎を伴うなど、重症化するおそれがありますので、早期発見、早期受診を心がけてください。

インフルエンザの予防には、手洗い等が有効です。流水・石鹸による手洗いは、手指など体についているインフルエンザウイルスを物理的に除去するために有効な方法であり、インフルエンザに限らず接触感染や飛沫感染などを感染経路とする感染症対策の基本です。こまめな手洗いを心がけましょう。

梅毒の患者が増加しています

梅毒の患者が増加しています。

国立感染症研究所の集計によると、平成29年の患者数は、現行の集計方式となった平成11年以降で初めて全国で5千人を超えました。福島県でも平成28年と同様、60名を超える患者の報告がありました。

梅毒とは

- 梅毒は、性的な接触などによってうつる感染症です。原因は梅毒トレポネーマという病原菌で、感染すると全身に様々な症状が出ます。
- 感染後3~6週間程度の潜伏期を経て、経時的に陰部の潰瘍、リンパ節の腫れなど様々な臨床症状を呈します。
- 早期の薬物治療で完治が可能ですが、検査や治療が遅れたり、治療せずに放置したりすると、長期間の経過で脳や心臓に重大な合併症を起こすことがあります。

梅毒の予防

感染部位と粘膜や皮膚が直接接触しないように、コンドームを使用することが勧められます。ただし、コンドームが覆わない部分の皮膚などでも感染が起こる可能性があるため、コンドームを使用しても100%予防できると過信はせず、皮膚や粘膜に異常があった場合は性的な接触を控え、早めに医療機関を受診して相談しましょう。

詳しくは厚生労働省ホームページをご覧ください

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html

この情報に関するお問い合わせ先: 県中保健福祉事務所 医療薬事課 感染症予防チーム

TEL: 0248-75-7818 E-mail: kenchu_kansensyoyobou@pref.fukushima.lg.jp